



【特集】平成30年度北海道予算



北海道価値は未来の扉を開く鍵

この地が「北海道」と命名されて、ことしで150年目を迎えま した。私たちのふるさと北海道は、豊かな自然環境や四季折々 の気候風土に恵まれ、アイヌや縄文といった独自の歴史や文化 を持ち、地域ならではの価値を有しています。この北海道価値 こそが、未来の扉を開く鍵といえます。

このため道では、暮らしと経済の両面から総合的な政策を 展開しており、近年、来道観光客の増加や、道産食品をはじめ とした北海道ブランドが高く評価されるなど、北海道は、国内 外から注目される地域の一つになってきました。

現在、私たちは、これまで経験したことのない人口減少に直 面していますが、地域の特色を生かした取り組みにより、人口 減の抑制に成果を上げる市町村も増えつつあります。

こうした地域創生の成果を確かなものにするため、これから も、子どもを生み育てやすい環境づくりや地域の将来を担う 人材の育成、道民生活に欠かせない交通網の整備など、待った なしの課題に正面から向き合い、心豊かに暮らせる北海道を 目指して取り組みを進めていきます。

キーワードは「世界」「地域」「未来」「人」

50年、100年先も、誰もが安心して暮らし、夢を描いて輝き 続けることができ、国内外からも多くの人々が訪れるような 北海道を創るため、次の二つの基本姿勢で道政運営に取り組み ます(具体的な内容は中面参照)。

北海道が誇る価値の源は、私たちが暮らす地域そのもので す。地域の産業や医療福祉、交通ネットワークといった生活基盤 を守り、地域の魅力を見つめ直し、磨き上げることで、次の世代 へ引き継いでいきます。また、「世界の中の北海道」として存在感 を高めていくためにも、地域の可能性をさらに引き出し、将来に わたって安心して暮らせる社会の確立を目指します。

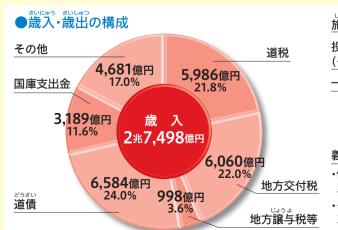
私たちの暮らしが大きく変わっていく中、次の時代に向かって 巣散にチャレンジする人たちの取り組みを全力で応援します。 また、「人づくり」こそが、あらゆる政策の原点です。お互いの 個性や価値観を尊重し、包容力を持ちながら、自立心にあふれ、 新しい価値の創造に挑戦する人材を育んでいきます。

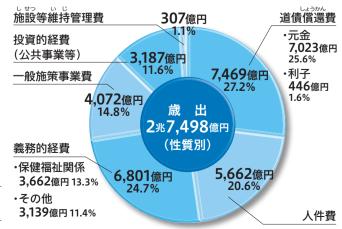
平成30年度予算の概要

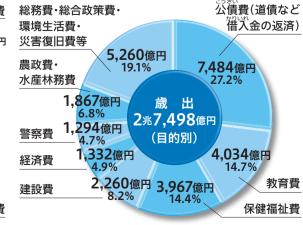
平成30年度予算は、昨年度と ほぼ同規模の2兆7,498億円と なりました(一般会計)。

道財政は、これまで行財政改 革に取り組んできた結果、収支 不足額が縮小するなど、着実に 改善が図られているものの、引 き続き収支不足が見込まれる など、依然として厳しい状況に あります。

今後も、予算の効率的な執行 や歳入確保に取り組むなど収支 不足の解消に努め、人口減少 など道政が直面する課題への 対応と財政の健全化との両立 を目指します。







※性質別:経費を投資的経費や人件費などの経済的性質で分類 ※目的別:経費を警察費や教育費などの行政目的で分類